



九国の扉

キュウトビ

vol.11

2013

学校法人九州国際大学
学園広報誌

特集1

地域連携

DREAM100

第4回高校生作文コンテスト 受賞者発表

特集2

九州国際大学の 人材育成



活気ある街づくりのために、人づくり。

地域の課題解決に取り組む、九州国際大学の地域活動

九州国際大学のルーツは、1930年に地域の勤労者の夜学として開設された「九州法学校」です。大学で学んだ知識を、職場や地域で活かしていく。つまり九国大の使命は、開学時から変わらず、地域の発展に貢献できる人材の育成にあります。

その使命を果たすため、九国大では地域連携を積極的に進めています。学生が小学校や商店街と一緒にたつて行う体験型学習や、社会に貢献したいという志を育むボランティア活動・・・。

地域再生の担い手を育てるために。地域の人たちをつなぐ拠点として。今号のキュウトビでは、九州国際大学の地域貢献活動を紹介します。



2013年4月、JR黒崎駅横コムシティに初のサテライト・キャンパスをオープン。

九国大初のサテライト・キャンパス

今年(平成25年)4月2日、九州国際大学の初のサテライト・キャンパスが黒崎駅横のコムシティ2階にオープンしました。いよいよ九国大が街なかに進出し、大学が培った「知」を地域社会に発信し、地域との共同で「人づくり」に積極参加しようというのが設立の意図です。

サテライト・キャンパスの公式名称は「九州国際大学地域連携センター」です。愛称は「きゅーこむ〜Ki-u-Com」と名付けました。九州国際大学(KIUきゅー)がコミュニティ(こむ)と連携し、「人づくり」街づくりに貢献しようという意図を表した愛称です。

なぜ、

「地域連携センター」なのか

地域連携センターという名称をサテライト・キャンパスにつけたのはなぜか。それは本学のサテライト・キャンパスが、従来の大学サテライト・キャンパスの役割と少し異なるからです。九国大のサテライト・キャンパスであるから、当然のことながら、九国大の学生を対象とした街なかでの教育、九国大の地域への情報発信基地としての役割を担います。しかし、九国大のサテライト・キャンパスは、同時に、地域社会と連携し、地域の「人づくり」「街づくり」にも積極参加しようというのです。大学が大学内にこもった教育・研究だけでなく、むしろ、その枠を超えて学生と教職員が外に向かって、地域と連携しながら地域社会づくりに貢献しようという意図のもと、「地域連携センター」という名称を付けることにしました。

このように、九国大サテライト・キャンパスは、地域連携センターとして、全学的に地域を志向した教育・研究を



進めながら、学生・教職員が地域と連携して地域コミュニティ再生を図る中核的存在として大学の機能強化を図ることをめざしています。

北九州市の「人づくり」拠点との連携

九国大のサテライト・キャンパスの特長の一つは、北九州市と連携して地域の「人づくり」の一端を担うことです。平成24年12月、九州国際大学はコムシティ進出に先立ち、北九州市と人づくり支援事業に関する協定を締結しました。この協定は九国大が培ってきた人的資源、知的資源、施設などを活用し、北九州市と連携して地域の「人づくり」に寄与するというものです。

北九州市は、2020年を目標準次とした基本構想・基本計画「元気発信！北九州」プランを作成しています。その中の第一の基本方針が「人づくり」であり、今回、平成25年4月に再生したコムシティはこの「人づくり」の実現をめざす拠点施設として位置付けられています。具体的には、北九州市の「人づくり」関連の8施設（八幡西生涯学習総合センター、市民活動サポートセンター、若者ワークプラザ北九州・黒崎等々）をこのコムシティに集結させ、子供から高齢者まで年齢、国籍、文化を問わず「人づくり」の総合的な北九州市の拠点づくりを実現しようというものです。九州国際大学地域連携センターは、この市の8つの施設と連携しながら、この地域の「人づくり」の一翼を担うことをめざしているのです。

土日もオープン、平日は夜9時まで

九州国際大学サテライト・キャンパスは、市民の方々や九国大OB、高校生・中学生など誰もがアクセスしやすい場所に立地しているだけ

でなく、利用者の視点に立ったキャンパス運営に努めています。

サテライト・キャンパスは、平日（月曜のみ休館日）は朝10時から夜9時まで開いており、土曜・日曜も朝10時から夕方6時まで開館しています。また、サテライト・キャンパスには、笑顔で迎える九国大の専任職員2名が常駐しています。

サテライト・キャンパスを訪れる人の利便性を念頭に、いつでも、だれでもが利用しやすい施設をめざして運営に努めているのが九国大サテライト・キャンパスです。

センターの多様な事業

九州国際大学サテライト・キャンパスでは、主に次の三つの事業を実施します。

一つ目は、**地域研究の拠点づくり事業**です。九州国際大学さらには他大学・地域との連携による地域課題に関する調査・研究を深め、その成果を蓄積します。

二つ目は、**地域連携の拠点づくり事業**です。地域課題を解決するため、地域の産学官民の連携ネットワークの構築に寄与します。

三つ目が、**地域の人づくり事業**です。大学の知を組織として地域に開放・還元し、教職員・学生の連携を通して地域の「人づくり」「街づくり」を実践する活動拠点となることです。

サテライト・キャンパスは、今年4月から動き始めたばかりです。現在、北九州市民カレッジ講座の開催や、地域との連携事業（地域連携推進事業）、大学コンソーシアム

専門の開講科目「関門の近代化遺産」などを実施しています。また、このセンターは九国大の情報発信基地として、大学だけではなく、付属中学校・高校についても積極的に

行います。

このように、九州国際大学地域連携センターは、「人づ

くりが拓く街づくりへ」をコンセプトに、地域の発展のためにさまざまな事業を行っています。本学のサテライト・キャンパスは、地域コミュニティの中心的な役割を果たし、街づくりに貢献することです。「地域再生」の一翼を担えるよう活動していきます。九国大のOBの方々、地域の方々とも連携した多様な事業を積極展開していこうと計画しています。

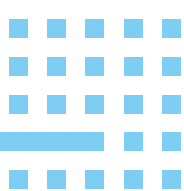
なお、地域再生のため、本学で協力・連携できる事業などがありましたら、遠慮なくセンターにお知らせください。九国大サテライト・キャンパスを拠点に、当センターは、地域の方々と連携した多様な地域貢献活動に取り組みたいと考えています。




九州国際大学地域連携センター (きゅーこむ)

・開館時間／火～金：10:00～21:00
土・日：10:00～18:00
・休館日／月曜日、年末年始

〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3-15-3コムシティ 2F
TEL.093-631-2203
E-mail: chiiki@kiu.ac.jp



九州国際大学



伝統を守る担い手として、「前田祇園山笠」に参加。



昨年度より参画している前田祇園山笠行事は600年以上の歴史を有し、遠賀川流域で古くから展開されてきた北九州市無形民俗文化財に指定されています。地域貢献・体験型学習の的一环として前田祇園山笠保存会の指導のもと、学生が社会人基礎力を得る目的で「地域との交流」と「文化の伝承」を体験することができました。

特に、競演会に参加することで大学と地域が連携し山笠行事を成功させたことは、学生の一生の思い出となったことと思います。

本学はこれからも、地域に開かれた大学として教職員および学生が、お潮井取りから競演会までの全ての前田祇園山笠行事へ参画し、地元住民との交流を深めながら地域貢献・地域連携してまいります。

多目的グラウンド (KIU Field) 完成！



かねてより念願であった大学多目的グラウンドが大学キャンパス内の平野記念館に隣接する敷地に完成し、平成25年7月13日「大学多目的グラウンド竣工式」が行われ、地元の前田自治区会をはじめ学内外の関係者およそ80名が出席して完成を祝いました。

また、一週間後の20日には完成記念式典を開催。堀田泰司学長の挨拶に始まり、記念ベナルティーキック、大学吹奏楽部による演奏が行われたあと、記念イベントとして本学サッカー部と佐賀県立佐賀商業高等学校サッカー部、高川学園高等学校サッカー部、大分中学・高等学校サッカー部との試合を行いました。

九州国際大学附属中学校

九州国際大学附属高等学校



小学5、6年生を対象にした英語講座「チャレンジイングリッシュ」が、昨年に続き今年も開催され、大好評でした。これは全9回の授業を通して、英検5級の合格をめざすもの。1時間目は先生による授業で英語の基礎を勉強し、2時間目はインターネットを活用した学習教材「すらら」を使って勉強します。E-Learningの特長は、自分のペースに合わせて学べること。実は「すらら」は北九州市では本校が唯一の導入校。家でも勉強ができるため、生徒たちの英語力のアップにつながって

小学生に英語の楽しさを伝えるプログラム。



付属高校にはボランティアを行う部活動「インターアクトクラブ」があり、部員9名で活動しています。今年5月25日に、JR小倉駅でカンボジア地雷撤去募金活動を実施し、手作りのボードと募金箱を持ち、募金を呼びかけました。同年代の若者から子ども連れの家族、年配の方まで幅広い年齢層の方の協力で、集まった募金は31,003円に。「がんばってください」と声をかけてくださる人もいて感動しました。お金がカンボジアの人たちに役立てられ

社会に役立つ喜びを、ボランティアで実感。



たらとてもうれしい」と語る部員。多くの方の優しさに支えられ、やりがいを感じ、充実した時間となったようです。



参加した小学生たちもパソコンを使った学習に、興味津々。その多くは10月に本校で行われる英検を受験する予定で、今年も昨年の5級合格6名を越える合格者も出そうです。本校は今後も、地域の小学生の英語力が伸びるようお手伝いをしていきます。



KIU Fieldは、サッカーやラグビー、ソフトボールなど多様な競技に対応できる人工芝グラウンドです。大学キャンパス内にグラウンドが整備されたことで、これまで以上にスポーツに関連する講義や部活動などが活発になり、大会や地域イベントの開催を通じて、地域との連携を強めていくことが期待されます。



4849の“熱い想い”との出会い。

Dream100

第4回高校生作文コンテスト

限りない可能性を持つ高校生に、自分と向き合う時間を提供したい。
 そんな思いからスタートした「Dream100作文コンテスト」。
 今年も九州・山口の24校から4849点もの作品が集まりました。



書くことを通じて、自分と向き合い
 夢や目標を見つけて欲しい

九州国際大学は毎夏、将来のことや、家族・友人について100文字以内で想いを語ってもらおう「Dream100作文コンテスト」を実施しています。4回目を迎える今年には24校から合計4849点もの応募がありました。

このコンテストは開学80周年の2010年にスタートしたもので、「100」には開学100周年に向けてたゆまず歩き続けようという決意と、高校生の夢が「満点」の花になるように、という願いが込められています。実際取り組んでみるとわかるのですが、自分の思っていることを100文字にま

とめるのは大変な作業。ムダを削り、核だけを取り出すためには、そのことについて、とことん考えてみなければなりません。参加した高校生の多くが「自分のやりたいことが明確になった」と言っています。その理由は、書く作業を通して自分と向き合うことができたから。これこそが、九州国際大学が作文コンテストを続ける理由なのです。

今年も原点に戻り、テーマを設けなかったため題材も変化に富み、若者の情熱を感じたと語る選考委員たち。誌面でも四賞の受賞作を紹介しましょう。ぜひその情熱を感じてください。



Dream100
 第4回高校生
 作文コンテスト

九州・山口の高校生を対象とした作文コンテスト。4回目となる今年にはテーマを設けず、将来の夢、家族・友人のこと、がんばっていることなど自由に語ってもらいました。九州国際大学はこれからも「夢を育てる大学」として、次代を担う若者の声に耳を傾け、実現をサポートしていきます。

■主催／九州国際大学
 ■共催／読売新聞西部本社
 ■後援／北九州市
 FBS福岡放送

■選考委員
 作家・北九州市立文学館名誉館長
 九州国際大学客員教授
 佐木隆三氏

九州国際大学学長

堀田泰司

北九州商工会議所専務理事

羽田野隆士氏

FBS福岡放送アナウンサー

松吉ゆかり氏

読売新聞西部本社編集委員

九州国際大学客員教授

時枝正信氏

九州国際大学大学事務局長

石塚孝文



日本の将来を切り開くのは若者の無限のパワー

「最近の若者は自分のことしか考えない」と言われがちですが、「世の中の役に立ちたい」「人々を笑顔にさせたい」など、社会貢献への意欲あふれた高校生が多く、心強く思いました。

将来の職業をつづった高校生もいました。看護師、介護士、自衛官、消防士などさまざまですが、地球温暖化や異常気象の頻発などを踏まえ、地球や環境の問題に目を向けた高校生もいました。

多くの応募作品のなかから、Dream大賞には、宮崎商業高校1年、熊須奏絵さんの作品を選びました。祖父に対する愛情があふれており、家族の太い絆が感じられました。祖父からもらった尺八が「一生の宝物だ」という結びも選考委員の共感を集めました。

人口の減少、高齢化など取り巻く課題は少なくありませんが、日本の将来を切り開くのは若者の無限のパワーです。期待しています。

選考委員長 佐木 隆三氏

最優秀学校賞

宮崎県／宮崎商業高等学校

優秀学校賞

福岡県／大牟田高等学校

福岡県／小倉南高等学校

学校賞

- 【山口県】山口県桜ヶ丘、田部、厚狭、下松工業、宇部フロンティア大学付属香川
- 【福岡県】福岡海星女子学院、九州国際大学付属、九州国際大学付属（一貫部）、沖学園、古賀竟成館、星琳、折尾愛真、小倉東
- 【長崎県】壱岐
- 【熊本県】高森
- 【鹿児島県】樟南、喜界

詳しくはホームページに掲載中！

九国大 ドリーム100

検索

読売新聞西部本社賞

虹林 桃子さん

(福岡県／九州国際大学付属高等学校3年)

夢	中	に	な	っ	て	勉	強	す	る	。	集	中	し	て
や	っ	た	分	、	結	果	が	返	っ	て	く	る	。	新
た	な	自	分	の	発	見	、	そ	し	て	広	が	る	世
界	に	胸	が	躍	る	。	医	者	、	建	築	家	、	芸
術	家	、	何	に	で	も	な	れ	る	ん	だ	。	勉	強
は	夢	と	可	能	性	が	た	く	さ	ん	つ	ま	っ	た
人	生	へ	の	パ	ス	ポ	ー	ト	。					



受賞を聞いて驚きましたが、周りの人から心に残る作品だと言われ、うれしかったです。特に文章力を鍛えるために取り組んでいることはありませんが、文章を書くのは好き。コンテストに参加することで、多くの人にメッセージを伝えることができ良かったと思います。

DREAM大賞

熊須 奏絵さん

(宮崎県／宮崎商業高等学校1年)

私	の	祖	父	は	尺	八	製	作	・	修	理	の	仕	事
を	し	て	い	る	。	最	近	は	洋	の	楽	器	ば	か
り	有	名	に	な	っ	て	い	る	が	、	そ	ん	な	中
で	も	尺	八	を	大	事	に	大	事	に	扱	う	祖	父
を	見	る	と	な	ん	だ	か	誇	ら	し	い	気	持	ち
に	な	る	。	祖	父	か	ら	も	ら	っ	た	尺	八	は
私	の	一	生	の	宝	物	だ	。						



祖父からもらった尺八にはいろんな思い出が詰まっています。受賞のおかげで尺八に興味を持ってくれた人が増えたかもしれないこと、祖父が今以上に仕事をがんばると言ってくれて、コンテストに参加して良かったと思いました。私も尺八をまた始めてみようかな。

選考委員会特別賞

栗原 万誉さん

(福岡県／明治学園高等学校3年)

昨	年	の	夏	、	一	人	で	東	北	震	災	ボ	ラ	ン
テ	ィ	ア	に	行	っ	た	。	僕	を	頼	り	に	し	て
く	れ	た	仮	設	住	宅	の	お	年	寄	り	や	子	ど
も	た	ち	は	今	ど	う	し	て	い	る	の	だ	ら	う
。	僕	は	受	験	生	。	大	学	に	行	き	、	た	く
さ	ん	勉	強	を	し	、	必	ず	困	っ	て	い	る	人
々	の	役	に	立	ち	た	い	！						



大使としてラオスを訪れ、学校に行きたくても行けない子どもや、地雷で命を失う子どもがいることを知って、困っている人の役に立ちたいと思い始めました。自分の意見を100字にまとめるのは難しかったけれど、夢を文字にすることで目標が再確認でき、受験勉強をがんばろうという意欲がわきました。

FBS福岡放送賞

坂口 舞さん

(長崎県／九州文化学園高等学校3年)

「	一	年	生	に	な	っ	た	ら	〜	友	達	1	0	0											
人	で	可	能	に	な	る	か	な	！	」	高	校	生	と	な	っ	た								
今	で	も	こ	の	歌	は	無	限	の	可	能	性	を	感	じ	さ	せ	る							
。	今	、	私	は	世	界	を	見	て	い	る	。	得	意	の	語	学	を	も	っ	と	磨	い	て	世
界	1	0	0	カ	国	の	人	々	と	語	り	合	い	た	い	。	こ	れ	が	私	の	夢	だ	。	



文字を削ぎ落としていく間に、言葉一つひとつに魂が宿っている感覚を覚えました。佐世保には米軍基地やハウステンボスがあり、異文化と接する機会が多く、自然と海外に興味を持つようになりました。将来の目標は日本語だけでなく、文化など総合的な「日本」を伝え、教える人材になることです。

2010年4月、男女共学校として新たなスタートを切った、九州国際大学付属高校。4年連続で、福岡県内で一番多くの受験者を集めているのは、現役合格率93%^(※)という高い教育力。その実力に迫ります。
※過去3年間の実績から

進学校としての

期待に応えることが使命

九州国際大学付属高等学校 校長 伊東 正和

男女共学化が、
進学校としての再スタートに

前身である八幡大学付属高校の設立は1958年。八幡や戸畑の中学校の先生や保護者から、4年制の大学をめざすための進学校が欲しいという要望から生まれました。この建学の精神が根底にあって、初めて本校の存在価値があります。

しかし長い間、私立高校は公立高校の滑り止めとしてしか見られておらず、受験生や保護者、中学校の先生といった外部だけでなく、本校の先生にも少なからずそんな意識がありました。

した。

校長として赴任した時、まずはその空気を変えたいと思いました。だって山の上にある学校ですよ。(笑)こんなに利便性の悪い高校をわざわざ選んでくれるのだから、その期待に応えなければいけない。男女共学は私たちの使命を思い出し、学校が一丸となるいい機会となったのです。

**学力に合わせたクラス編成が、
学習意欲を高める**

進学を希望する生徒全員の現役合格。「行ける大学」ではなく、「行きた

い大学」をめざせるように偏差値をアップさせる。そのための良い装置になっているのが、習熟度別のクラス編成です。トップクラスの国公立大学をめざす「難関」から、「S特進」「特進」など6つあり、入学試験の点数で分けています。がんばれば上のクラスに入ることのできるため、それが良い刺激、勉強の意欲につながります。つまり本校の中に、いろいろなレベルの高校があるようなもの。公立も合格したけれど本校を選ぶ、あるいは一般入試での第一志望として選んでくれる「逆転現象」が起こっているのはうれしいことです。



数字で見る付属高校

■入学試験受験者 …………… **4,210名**

4年連続、福岡県で最多の受験者を集めています。

■平成25年度進学実績

現役合格率

国公立・準大学

私立大学

93%

85名

482名

過去3年間の平均

自己マネジメントプログラム「夢橋」

目標達成のために日々努力する大切さや、自学自習の習慣を身につけさせるために取り入れているのが、自己マネジメントプログラム「夢橋」です。総合的な学習の一環として時間割に組み込まれており、クラス担任の指導のもとで活用されています。



放課後の自習風景

課外後や土日も生徒が勉強できるように、教室やロビーを開放しています。わからないところはいつでも先生に聞けるため、塾に行く必要がないという生徒も。保護者の経済的な負担軽減にもつながり喜ばれています。



高い授業力

「行きたい大学に、現役合格！」この高い目標をクリアするために、生徒にアンケートを実施するなど、教師は常に授業力をチェック。わかりやすさを追求するとともに、自己の教育力を高めることも忘れません。



文武両道を追求

勉強はもちろん、部活動への積極的な参加を促し、人間としての成長を後押ししています。教育力の高さと並び「社会性が身につく」といった評価も、多くの受験生を集める理由になっています。



文化祭・体育祭

何でも、とことんがんばる。その九国大スピリッツが発揮されるのが文化祭や体育祭といったイベント。クラス一丸となって創り上げる文化祭や、陸上競技場を借り切った体育祭の思い出は、一生の宝物になります。



教育力を支えるのは、
私立高校ならではの愛校心

すべてのクラスに昔よりも偏差値の高い生徒が入学してきているので、授業力をワンランクもツーランクもアップさせないといけません。学力向上委員会を立ち上げて、教師の研修制度にも力を入れています。パディンスタムはそのひとつ。指導力のある先生に新人教師をつけて、授業を見学させたり、担任としての不安を解消するアドバイスをするなど心配りを行います。予備校に自腹で授業を受けに行く先生もいます。受験勉強のプロに学

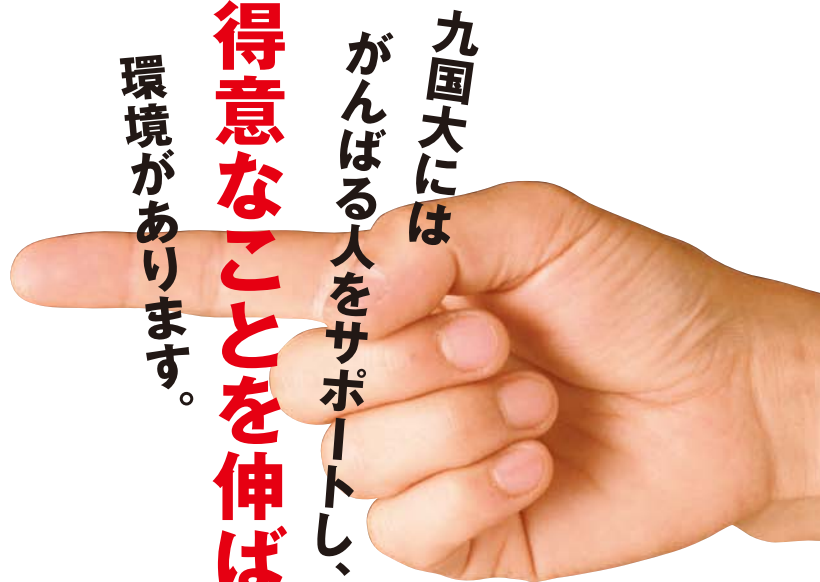
ぼうというわけです。また、保護者の間では塾に行かせなくてもいいという点が高く評価されています。それは夜の8時までは先生たちが質問に答えている自習制度です。放課後、教室やロビーで生徒が先生をつかまえてわからないところを聞くのは、ここではごく普通の風景。土日も出勤する先生も本当に大変だと思いますが、私立高校は異動がありませんから愛校心は人一倍強い。子どもたちや保護者の期待に応えよう、期待を超える結果を出そうとする心意気は、まさに「教育の力こぶ」なのです。





九州国際大学 国際関係学部2年生
蒲地 諒 一さん
九州国際大学付属高校出身

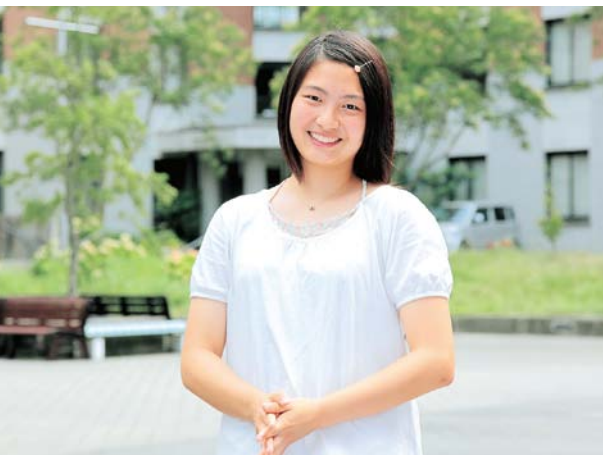
小学生で囲碁をはじめ、付属高校時代には全国高等学校囲碁選手権大会に出場。ほかにも応援団や生徒会、ボランティア活動と、充実した学園生活を送ることができました。九国大なら、今しかできないさまざまな挑戦ができる。高校時代の経験があるから、進学先に迷いはありませんでした。英語と中国語の両方を学べることも魅力でした。英語のスピーチ&レシテーションコンテストは直前の猛特訓のおかげで3位、子どもの頃からの夢であった交換留学生にも選ばれました。どちらも学部やゼミ



九国大には
がんばる人をサポートし、
得意なことを伸ばせる
環境があります。

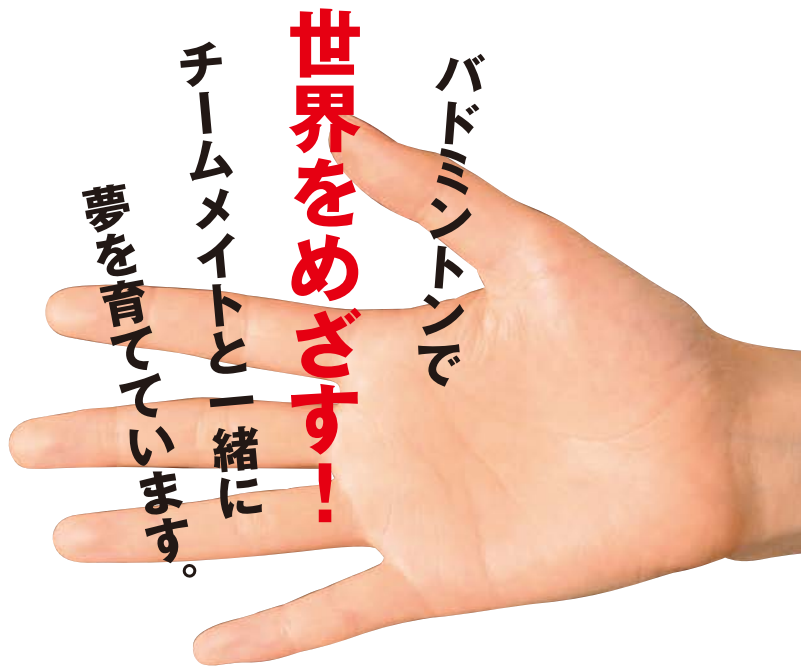
特集2

九州国際大学の人材育成



九州国際大学 経済学部1年生
中村 麻裕 さん
九州国際大学付属中学校 付属高校出身

高校卒業後は、実業団でバドミントンをする予定でした。それが急にクラブが廃部となり、目標を見失ってしまったので。バドミントンを続けながら、学業を修め、教職課程も取得すればいい。大学進学は私を心配した、先生たちの親身なアドバイスによるもの。暗闇に光が射し込んだような気持ちでした。九国大は毎年、全国大会に進む強豪校。これまでの仲間やコーチとバドミントンが続けられる環境もあります。入学直後からハードな練習を続けた結果、九州学生バドミントン選手権シン



バドミントンで
世界をめざす!
チームメイトと一緒に
夢を育てています。

国際関係学部の言語教育

世界の人と自在にコミュニケーションするために必要な言語。その習得のために、言語を「使う場」を用意しています。

◎スピーチ&レシテーションコンテスト

テーマについて自分の考えを発表するスピーチの部と、与えられた言語を暗誦し披露するレシテーションの部があり、毎年たくさんの学生が参加しています。流暢な発音はもとより、人に気持ちを伝える表現力が鍛えられる場。英語のほかにはハングルのコンテストも開催しています。

◎海外留学制度

学生時代の海外体験は、語学力を高めるだけでなく、広い視野を養う絶好の機会。半年から1年間の長期留学ができる「交換留学制度」「認定留学制度」をはじめ、長期休暇を利用した語学研修があり、だれにでもチャンスがあります。そのネットワークは英語圏はもちろん、韓国や中国、インドネシアなど東アジアの国々にも広がっています。



あこがれの甲子園で応援団として指揮をふる。高校時代のかけがえのない思い出になりました。

の先生の親身な指導のおかげです。留学先は、囲碁を通じた友人がいる中国。ずっと興味を持っていた文化や観光についても、深く学びたいと思っています。留学するからには日本と中国の架け橋になり、お世話になった

KIU杯 第一回高校生 英語スピーチコンテスト開催

日時：2013年11月16日(土) 13:00~16:30
会場：九州国際大学KIUホール

国際性豊かな青少年の育成をめざすため、国際語である英語を使って、自らの考えや主張を表現する場を設けました。

人たちの役に立ちたい。語学の習得はもちろん、多くの友だちをつくり文化交流や国際交流を深めること。そして卒業までに中国語検定1級と、通訳も兼ねた観光業に携われる国家試験に合格することが目標です。



大会を通じて考える力、先を読む力を身につける。囲碁で学んだことは生涯の宝になっています。

1930年の開学以来、地域の人材育成に努めてきた九州国際大学。 北九州から世界へ、未来へ羽ばたくKIUファミリーの“今”をレポートします。

アスリートを育てる、 充実した環境

ロンドンオリンピックでの太田和臣選手(ウエイトリフティング)や、池田・潮田ペア(バドミントン)の活躍は、記憶に新しいところ。スポーツジム並みの充実した施設と伸びやかな環境がトップアスリートを育てています。



最後まであきらめないという姿勢を貫く。日頃の練習の成果で厳しい予選を勝ち抜き、「九州学生バドミントン選手権大会」女子シングルス8年ぶりの優勝を果たすことができました。



グルスで優勝することができましたが、これはまだ通過点に過ぎません。小学生のときから池田信太郎先輩と一緒に「岡垣ジュニア」で、プロリーグやオリンピックを夢見ていたのに、高校時代は全国ベスト8の壁がなかなか破れなかった。だからこそ大学の4年間で全国上位の結果を残して、お世話になった方々に成長を見せたい。そしてもうひとつ、指導者という新しい夢に向けて、学部や教職の勉強もがんばっていききたいと思っています。



▲体育館 ▶トレーニングルーム
(九州国際大学・KIUドーム)



九州国際大学の人材育成 ■社会で活躍するOB

九州国際大学付属高校 2001年卒業
福岡医療専門学校・柔道整復科に進学
千代整骨院 院長 安倍孝宜さん



直球の言葉が、心を動かした

「何でもいいから始める。動かなければ前に進めないし何も始まらないぞ」。高校を卒業して1年近くフリーターをしていた時、高校1年の担任だった深江文昭先生(故人)に言われた一言です。目標を見つけられず親にも心配をかけ、新設される『福岡医療専門学校』の存在を知らされたのに決心がつかない。悩んでも、もがいている私に投げられた「動いてみる！」という言葉は、直球で胸に届き意欲を取り戻すきっかけになりました。

専門学校ではその後師匠となる先生から、柔道整復師の仕事が柔術をルーツとする江戸時代からある治療法であることを学びます。困っている人に治療を施すやりがいのある未知の仕事であり、多くの可能性を秘めているとわかったのです。

技術と情熱で、地元へ恩返しを

卒業後は、福岡市内にある兄弟子の整骨院で患者さんの回復する力をサポートし、笑顔にするという喜びを知りました。自分のめざす道が見えた頃、「教えることはすべて教えた」と独立を勧められたのです。地元北九州へ戻り、千代の丘と出

恩師の言葉に

背中を押され、

人生が大きくなり

変わりました。



会い、資金の調達などたくさんさんの期待と不安を抱えながら、26歳で開業、2013年には(社)柔整外傷協会の福岡初の認定院になることができました。いま力を入れているのは三重県の鈴鹿で技術を習得したギプスの固定。松葉杖の使用により筋力が衰えるのを防ぐため、患部にヒールを沿わせるというものです。今後はケガの治療、痛みの緩和ケアのスキルアップとともに、介護福祉分野にも取り組めるケアマネジャーの資格にも挑戦します。深江先生の一言から動き出した人生。もし悩んでいる後輩がいるなら同じように「悩むなら動け。進んでいくと新しい出会いと未来が待っているよ」と言っておきたいですね。



直接手を使って行う徒手療法。最新の治療機器だけに頼らず、一人ひとりの骨格や筋肉に合わせて、丁寧に原因を取り除いていく。



開業以来、一貫してこだわっている丁寧な問診と診察で、患者さんとの信頼を築いている。スタッフと力を合わせ「日本一熱い整骨院」をめざす。

九国のユニークな教育、
がんばる人を紹介します。

University

“他流試合”で力を付けていく、九国大経済学部ゼミ活動。



経営学科 ビジネスリーダーコースの海外研修

本年6月には、南ソウル大学（韓国・忠清南道天安市）へ共同で「The 1st Cross Cultural Education Conference (プレゼンテーションとデイスカッションを中心としたセミナー型)の共同研究発表会ならびに現

経済学部経営学科ビジネスリーダーコース(BLC)では、正課教育で習得した経営学の専門的知識を活かす機会として、実習型の科目を配置するとともに、学生主体のイベントや各種研修などの企画を豊富に用意しています。



地でのホームステイ等を含む学生研修企画を実施しました。本学より参加した22名の有志学生(男子学生15名、女子学生7名)は、国籍や価値観、文化的背景の異なる現地の学生たちと種々のグループワークに取り組み、国際的な交流を楽しむとともに、大学



卒業後、社会にエントリートした際に求められるグローバルな視野を持ったリーダーとしての資質やスキルについて、体験を通じて学ぶことができました。

さらに、学生たちは、ホームステイ体験(本学の学生が2名一組になり、南ソウル大学の学生さんたちのご

今後もBLCでは、学生たちが座学を通じて得た知識や情報を実際に活用する機会を提供すべく、同様の正課外研修を積極的に実施していく予定です。

経営学科
助教 村田晋也

実家に宿泊させていただきました)を通じて、隣国・韓国的一般家庭における風習や礼儀などについて学ぶとともに、今後の両国の関係を一層良好なものへと進展させる基礎とも言うべき友人関係を築くことができました。

経済学科 / インゼミ

日本学生経済ゼミナール大会(通称インター大会)は、全国の経済学・経営学を学ぶ学生を対象とした学術大会です。昨年はその第59回大会が龍谷大学で開催され、本学経済学部からは上坂ゼミ(金融論)24名、山口ゼミ(経済統計)8名が参加しました。

学生は12月の大会に向けて、年度始めからゼミ論文の作成に取り組みます。7月中にはテーマが共通する他大学ゼミと分科会を結成

し、その後は第1次草稿の交換、質問書や回答書の作成、最終論文の交換と進みます。大会当日は分科会を構成するいずれかのゼミから選出された議長団による司会進行のもと、互いの論文に基づいた討論が行われます。

昨年度、上坂ゼミでは「ヨーロッパ債務危機」、「為替変動に対する日本企業の対応」、「道州制と地方経済」をテーマとする3グループが、東北学院大学、法政大

学、山口大学などのゼミと分科会を結成し討論しました。山口ゼミは「経済格差と貧困」をテーマに、北海学園大学、東北学院大学と議論を深めました。

論文作成の過程では、問題発見能力、情報収集能力、分析能力、表現力・文章力など、大学において身につけるべきさまざまな能力が鍛えられます。またグループによる共同作業であることから、コミュニケーション能力やチームワーク力が

身につくとともに、他大学の学生との討論・交流を通じて、より深く学ぼうとするモチベーションが与えられます。

今年度のインター大会には、新たに宇都宮ゼミ(西洋経済史)を加えた3つのゼミが参加予定です。今後はより多くのゼミが参加できる環境を整えて、経済学部のゼミ活動の一層の活性化をめざしたいと思います。

経済学科
准教授 上坂 豪

University 学生の「読む力・書く力・話す力」を育てる、大学図書館のチャレンジ!

”静かな場所“という図書館のイメージとは裏腹に、本学の大学図書館は学生の読み書き能力や知識欲を刺激するため、さまざまなチャレンジを続けています。その熱い現場からのレポートです。

チャレンジ1 / 学生企画展示



また本を選ぶ際に、自分の好みだけでなく、相手の視点に立って考えることの重要性に気づくなど、学生スタッフの成長にもひと役買っています。

大学図書館で業務を手伝う学生スタッフが、テーマ設定から本の選定、レイアウト案やPOP作りまでを行いました。テーマは「パワフルサマー」。長い夏休みを無為に過ごさず、目標を立て、一歩を踏み出して欲しい。そんなメッセージを込めてピックアップされた本は、就職活動や資格取得、旅に関するものまでバラエティ豊か。展示初日から立ち止まって本を手にする人や借りる人がいるなど、今回の企画に館長はじめ職員一同手ごたえを感じています。

チャレンジ2 / 選書ツアー



「選書ツアー」で学生の意見を積極的に取り入れていきます。大学図書館は地域の方にも開放されており、その充実ぶりは高く評価されています。

「本屋大賞」「原作本、いつ読むの?今でしょ!」「悩むならとりあえず読んでみる?」「学問のススめ」と、思わず手に取りたくなるフレーズがズラリ。入り口近くには4つのコーナーを作り、定期的に本を入れ替えています。すぐに役立つ知識やハウツー本だけでなく、文化や芸術を大切に、人間性や教養を高めてほしいと願い、小説やエッセイなど幅広いジャンルの本を選んで、学生たちが本屋に行つて本を選ぶ「選書ツアー」で学生の意見を積極的に取り入れていきます。

ご協力ありがとうございました。

九州国際大学保護者後援会より展示ラック、展示用ブックトラック、本の購入費用を援助していただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

チャレンジ3 / ビブリオバトルを取り入れたグループワーク(ゼミ活動)

村田ゼミ (経済学部 / 1年生入門演習)



練習会やデモンストレーション、ゼミ内でグループディスカッションを行い、連続性を持たせながら取り組んだ村田ゼミ。公式ルールは個人戦ですが、「学生同士で協力して学習すること」を前提として、グループ対抗プレゼン大会として実施しました。紹介する本は全員が読むこと、プレゼンでは必ず一人ひとり役割を持つことなど先生からの課題もパーフェクトにこなしました。

松尾ゼミ (経済学部 / 1年生入門演習)



「人前でロジカルに話せるようになること」。これは松尾ゼミの目標の一つ。先輩にレジュメを見てもらったり、先生と一緒に話す練習をしたり、ゼミ時間外でも前向きにがんばるゼミ生たち。図書館スタッフと一緒に考えたプレゼンを取り入れた人、自分の実体験から本を紹介した人など、努力の成果が見受けられるプレゼンでした。

宇都宮ゼミ (経済学部 / 2年生経済演習)



図書館スタッフのデモンストレーションを皮切りに、紹介する本を図書館で探した後は、「何を」「どれだけ」話すかを効率よくまとめることができるレジュメシートを記入。グループ内で練習を重ね、2週にわたってビブリオバトルを実施しました。「指摘された改善点は、素直に取り入れること。初めてで成功するより、失敗して次に生かす方が学びは大きいです」と、宇都宮先生。

- 1.お気に入りの本を持って集まる!
- 2.順番に一人5分で紹介する!(+2~3分のディスカッション)
- 3.「どの本を一番読みたかったか?」で投票を行い『チャンプ本』を決める!

ビブリオバトル公式サイトより抜粋
http://www.bibliobattle.jp/

面白い本に出会った時、本を読んで感動した時、「誰かに紹介したい」と思ったことはありませんか? また、プレゼン力を向上させたいけど、練習する機会がない…。そんな方にオススメしたいのが、「ビブリオバトル」というゲームです。

このビブリオバトルを活用したグループワークが、ゼミで積極的に展開されています。審査員には学部の垣根を越え、他学部の先生も参加。ディスカッションタイムでは先生からの質問にもその場で答えなければいけません。質問の意図を理解し、求めている答えを自分の言葉で説明することで、コミュニケーション能力のアップにもつながります。自分も売り込むことが求められる「就活」。ビブリオバトルは

その手段を学ぶトレーニングにもなるものです。「ビブリオバトルの良さは、バトルを通して、さまざまな本の良さを発見し、その発見を参加者全員で共有できるところにあると思います」と語る島浦館長。図書館ではビブリオバトル首都圏決勝戦へ向けて学内予選会を実施します。10月26日は学内予選会のチャンプ本による「地区決戦(九州北部)」に臨む予定。彼らの活躍にご期待ください!

※結果はKリーブログで紹介します

High School 文化部の活躍



「知・徳・体」のバランスのとれた人間教育がモットーの付属高校では、生徒にクラブ活動を積極的に推奨しており、全国大会や九州大会出場など、毎年すばらしい成果をあげています。今号ではそんな文化部の活躍を紹介します。

場を含め、さまざまなイベントで活躍しています。今夏は九州北部豪雨災害復興チャリティ活動として福岡県内の高校が共同したマーチングの祭典「Dream Session 2013」のほか、全国的な活躍をみせるマーチングバンドが一堂に会す「第37回全国高等学校総合文化祭2013長崎」をおかぜ総文祭のマーチングバンド・バトントワリング部門に参加。演奏した『Reflections』ではスピード感を意識し、緩急つけた構成に仕上げ、会場全体に大きな感動をもたらしました。

【吹奏楽部】

全国大会を終えて

長崎で行われた高文祭マーチング・バトントワリング部門の全国大会に参加してきました。大会に向けて『勇往邁進』というテーマを掲げ、日々練習に励んできました。吹奏楽コンクールとも重なり、練習時間が取れずに悩んだ時期もありましたが、テーマのもと大会まで自分たちらしく走りぬくことができたと思います。なにより本番は今まで練習したことを思い出し、楽しく演奏・演技することができました。

今回このような大会に出場できたのも顧問の先生方、陰で支えてくれた方々のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。これからも吹奏楽部の応援、よろしくお願いします。



吹奏楽部部長
大藤 夕海
(付属高校3年)

【囲碁部】

第37回 全国高等学校総合文化祭
囲碁部門
原田 彩花

個人戦 17位 / 44人中 3勝3敗



【書道部】

第30回 読売書法展 入選
田口 由華子

Junior High School 英語学習

“Let's Study English”は、九州国際大学国際関係学部3年太田ゼミの大学生が夏休みに付属中学の1・2年生の希望者を対象に、英語学習の支援をしてくれるという初の試みでした。初めは緊張していた生徒たちも次第に打ち解け、積極的に質問ができ、楽しく学習できたようでした。わかりやすかったという声が多

く、これで苦手部分も克服できたはず！大学生は「教えること」の難しさを実感したと同時に、生徒の「わかった！」の笑顔を目の当たりにしたことで、自信と将来へのビジョンが大きくなったことでしょう。お互いに高校受験、英語教師という未来に向けてのキラキラとしたやる気につながった、充実した3日間になりました。



University



◎ウエイトリフティング部

平成25年度第59回
全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
第25回全日本女子学生
ウエイトリフティング選手権大会

試合結果

男子56Kg 高尾宏明 **優勝**
男子69Kg 森蔵寛 **優勝**
女子48Kg 柳田瑞希 **優勝**

高尾選手と柳田選手が最優秀選手賞を受賞しました。

平成25年度

第10回全日本ウエイトリフティング選抜大会

試合結果

女子53Kg 柳田瑞希 **準優勝**
+75Kg 永井恵理 **優勝**
男子56Kg 高尾宏明 **優勝**
105Kg 田中太郎 **優勝**

3名が優勝。中でも高尾選手は種目及びトータルにおいて大会新記録を樹立しました。そして、柳田選手が日韓中、高尾選手はユニバーシアードへの出場が決まりました。



◎バドミントン部

第62回九州学生バドミントン選手権大会
(男子) **団体 優勝**

ダブルス **優勝** 松本剛(経済学部4年)
森田浩平(経済学部2年)
準優勝 吉本貴(経済学部4年)
西田昂史(経済学部4年)
3位 川崎誠大(経済学部4年)
大塚悟司(経済学部3年)
シングルス **優勝** 森田浩平(経済学部2年)
準優勝 松本剛(経済学部4年)
3位 大塚悟司(経済学部3年)

(女子) **団体 優勝**

シングルス **優勝** 中村麻裕(経済学部1年)
九州リーグに続くアベック優勝を果たしました。これは九州国際大学バドミントン部創部以来初の快挙です。個人戦女子はルーキーの中村選手がシングルスで優勝を果たしました。女子シングルス優勝は8年ぶりになります。今大会は団体上位2位まで、個人戦上位3位までが10月に行われる全日本インカレに出場できます。

◎バスケットボール部

第63回九州地区大学体育大会 **3位**

◎硬式野球部

平成25年度九州六大学野球春期リーグ **準優勝**



High School

■平成25年度 全国高校総体



◎サッカー部

第48回 全国高校総体サッカー競技大会
ベスト16

◎柔道部

第62回 全国高校総体柔道競技大会
個人 100kg 超級 小山田隼人 ベスト16

◎陸上部

第66回 全国高校総体陸上競技大会
男子800m 吉永広輝 予選5位



◎バドミントン部

第64回 全国高校総体バドミントン競技大会

男子団体 **ベスト8**
女子団体 **ベスト8**
男子個人シングルス
馬場湧生 **ベスト8** 西坂登 **2回戦敗退**
個人ダブルス
馬場湧生・水谷希純 **3回戦敗退**
多賀敦司・田中佑弥 **初戦敗退**
女子個人シングルス
根本絢子 **準優勝**
松岡英美 **3回戦敗退**
個人ダブルス
根本絢子・寺田桃香 **準優勝**
西尾千空・西坂はるな **ベスト16**
中野愛美・重田美空 **初戦敗退**



◎体操部

第29回 全国高校総体体操・新体操競技大会
個人 高山蒼 146位
森雄登 178位

◎ウエイトリフティング部

全国高校総体ウエイトリフティング競技大会
63kg級 松村邑 出場
77kg級 福田匠磨 8位
85kg級 河浦英嵩 出場
全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選抜大会
48kg級 足立咲輝 5位入賞
58kg級 三苦琴乃 出場
全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選抜大会
スナッチ競技 48kg級 足立咲輝 **優勝**
C&J競技 48kg級 足立咲輝 **2位**

◎弓道部

第15回 紫灘旗 全国高校弓道遠大会
団体5位(岩井仁、篠原宏斗、山下直樹、下清水康次)

Junior High School

今年も中体連では女子バドミントン部の活躍が光りました！北九州市の大会から始まり、県、九州、全国と戦い抜きました。その中でも今年創部以来初の全国大会で女子団体が準優勝という快挙を達成し、大盛り上がりです。チーム一丸となり、昨年までの全国ベスト4という大きな壁を打ち破りました！応援の部員も観客も、一進一退の攻防を、呼吸をするのも忘れるほど必死に見つめ、選手はプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも、自分を奮い立たせ、全国で準優勝という素晴らしい結果をもぎ取ることに成功しました。



◎女子バドミントン部

<第42回 九州中学校大会>
8月8～10日 八代市総合体育館

女子団体 **優勝**

宮原美樹(3年)・縄田佳子(3年)・松山奈未(3年)
大野琴乃(3年)・川床菜奈華(3年)
平野紗紀(2年)・小西春七(1年)

女子シングルス

優勝 松山奈未(3年)
第3位 平野紗紀(2年)

女子ダブルス

準優勝 宮原美樹(3年)・縄田佳子(3年)
第3位 大野琴乃(3年)・川床菜奈華(3年)

<第43回 全国中学校大会>

8月17～20日 富士宮市民体育館

女子団体 **準優勝**

宮原美樹(3年)・縄田佳子(3年)・松山奈未(3年)
大野琴乃(3年)・川床菜奈華(3年)
平野紗紀(2年)・小西春七(1年)

女子シングルス

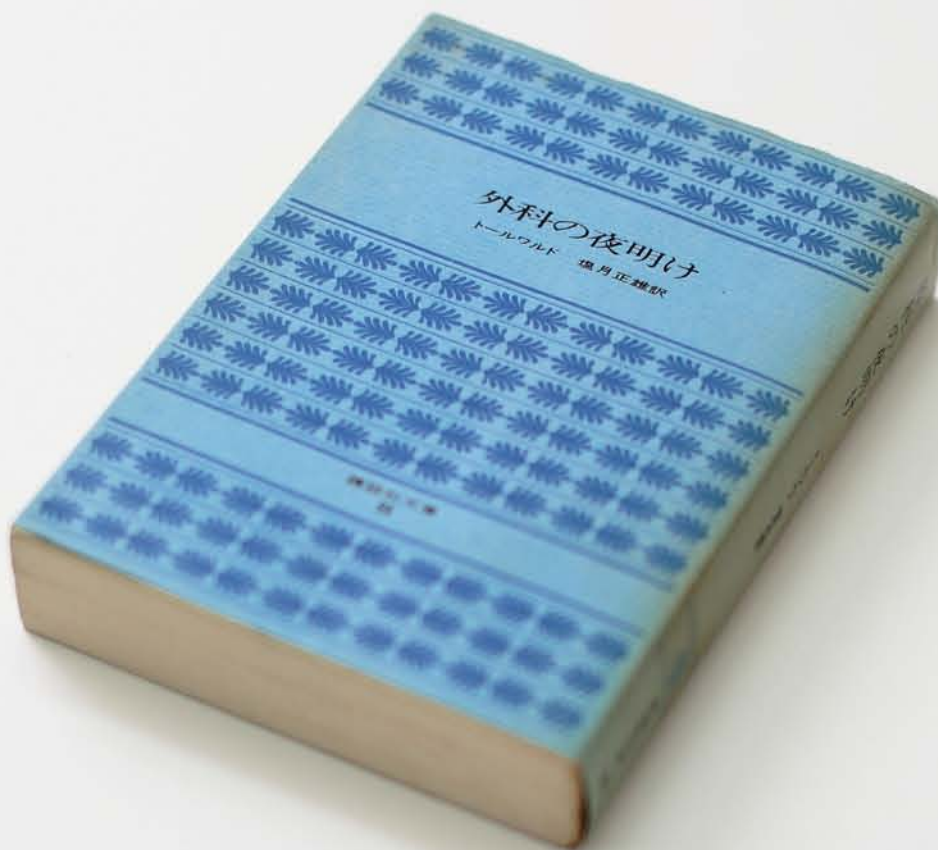
ベスト8 松山奈未(3年) 平野紗紀(2年)

女子ダブルス

ベスト16 宮原美樹(3年)・縄田佳子(3年)



本や音楽、恩師など、先生の人生の転機となった出合いを教えてくださいました。



外科の夜明け

J・トールワルド『外科の夜明け』

(塩月正雄訳 1971年 講談社文庫)

現在は絶版。古書としては地球人ライブラリーが入手しやすい。
付属高校図書室・大学図書館に所蔵しています。



九州国際大学付属高等学校教諭

亀田 一邦

担当は国語。怪知識を駆使した弄奇的授業(KAMEDAワールド)は生徒の支持が高く、毎年おびたしいKWホリッカーが誕生する。付属高校図書室に珍籍数百点を寄贈、万々茶庵文庫として今も増殖中。また防長儒医研究の専門家としても知られ、九州国際大学客員教授を兼務する。

革命的な発見をした人間は、
そのために闘わなければならぬ。
外科医学の栄光と挫折を感動的に描いた
ノンフィクションの傑作！

洋の東西を問わず、外科医は内科医より格下でした。肉刑後の処置と戦傷治療のスペシャリストは、悲鳴と血膿の中で格闘していました。彼らは長い間、汚れたマスターとして蔑まれ続けたのです。ところが十九世紀。疼痛・出血・腐敗という三大難関を克服した時、外科は劇的進化をとげる！その快進撃を描くのがこれ。初めて読んだのは小学生の時。別に早熟だったわけではなく、「少年少女世界の名作」に入っただけの話。それ以来、本書の追っかけです。講談社文庫は原著のポケット版英訳に拠ったとか。小学館の地球人ライブラリーはハイライト新訳。完全版はへるす出版から2007年にやっと出た。だから手元には『外科の夜明け』が六冊あります。我々を苦しみから解放したのは、医学に志した人々の飽くなき探究心、社会貢献への情熱、そして一途な人類愛でした。外科が殺人業から芸術へと昇華するまでの数々のドラマは読むものの胸を打ちます。きつと南方仁先生も読んだはずー私の医史研究の原点です。

学校法人 九州国際大学 平成24年度 決算状況

平成24年度消費収支決算は4億6,809万円の消費支出超過となっています。ただし、基本金組入れ前の帰属収支差額は、3,634万円の収入超過となり、平成17年度決算から続いていた支出超過からの回復となります。[※全国の私立学校の財務状況は、平成23年度において大学部門を設置する541法人の内、226法人(41.8%)が支出超過。(日本私立学校振興・共済事業団：今日の私学財政平成24年度版)]

帰属収入は、39億8,715万円となり、前年度比で1億6,481万円増加しました。主な要因は、補助金収入及び退職者にかかる財団からの退職金交付金の増加等によるものです。特に、補助金収入は、大学の教室環境整備事業や高等学校の校舎等耐震診断事業に係る補助金を獲得できたことが増加の要因です。

一方、消費支出は、39億5,081万円となり、前年度比で958万円増加しています。人件費支出の内、教職員人件費本体(役員報酬含む)は、若干減少していますが、一時的な退職金関係支出が増加したため、人件費総額は前年度を3,374万円上回りました。教育研究経費では、奨学金費が増加傾向にあるものの、全体では、310万円減少しています。減少の主な要因は、情報通信機器等のリース物件等の更新の際に、購入による調達に変更したため、賃借料が大きく減少しています。管理経費は、前年度比で523万円程度増加しました。これまで賃貸契約を締結していた学生駐車場用地を、平成24年度途中で取得したことにより、賃借料が大幅に減少しましたが、その他の管理経費が全般的に増加しています。また、当該年度に限っては、本学職員・卒業生のロンドンオリンピック出場に伴う学園広報活動経費を捻出したため、広告費が増加しました。

貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	資産の部			負債の部			
	平成24年度	平成23年度	増減	科目	平成24年度	平成23年度	増減
● 固定資産	17,526,931	17,116,470	410,461	● 固定負債	1,381,730	1,467,873	△ 86,143
● 有形固定資産	15,022,563	14,614,264	408,299	● 長期借入金	361,010	416,550	△ 55,540
● 土地	4,166,653	4,166,653	0	● 退職給与引当金	1,017,227	1,047,837	△ 30,610
● 建物	7,494,504	7,844,868	△ 350,364	● 長期未払金	3,493	3,486	7
● 構築物	404,006	440,391	△ 36,385	● 流動負債	983,031	634,585	348,446
● 教育研究用機器備品	370,707	331,427	39,280	● 短期借入金	425,540	55,540	370,000
● その他の機器備品	59,565	64,102	△ 4,537	● 短期未払金	43,165	51,441	△ 8,276
● 図書	1,774,693	1,762,400	12,293	● 前受金	391,668	407,424	△ 15,756
● 車輛	8,327	4,423	3,904	● 修学・研修旅行費預り金	65,220	60,244	4,976
● 建設仮勘定	744,108	0	744,108	● 預り金	57,438	59,936	△ 2,498
● その他の固定資産	2,504,368	2,502,206	2,162	● 負債の部合計	2,364,761	2,102,458	262,303
● ソフトウェア	589	820	△ 231	● 基本金の部			
● 電話加入権	3,203	3,203	0	● 第1号基本金(施設・設備取得)	22,429,924	21,926,240	503,684
● 敷金	14,450	14,450	0	● 第4号基本金(運転資金)	397,000	397,000	0
● 有価証券	200,000	200,000	0	● 基本金の部合計	22,826,924	22,323,240	503,684
● 長期貸付金	1,026	1,382	△ 356	● 消費収支差額の部			
● 退職給与引当特定資産	997,826	1,045,097	△ 47,271	● 翌年度繰越消費支出超過額	5,151,171	4,683,828	467,343
● 減価償却引当特定資産	1,252,459	1,202,439	50,020	● 消費収支差額の部合計	△ 5,151,171	△ 4,683,828	△ 467,343
● 預託金	34,815	34,815	0	● 負債の部基本金の部及び消費収支差額の部合計	20,040,514	19,741,870	298,644
● 流動資産	2,513,583	2,625,400	△ 111,817				
● 現金預金	2,146,622	2,356,007	△ 209,385				
● 未収入金	297,817	203,306	94,511				
● 貯蔵品	268	491	△ 223				
● 短期貸付金	941	1,012	△ 71				
● 修学・研修旅行費預り資産	64,748	59,937	4,811				
● 前払金	2,577	3,373	△ 796				
● 仮払金	610	1,274	△ 664				
● 資産の部合計	20,040,514	19,741,870	298,644				

校舎・寮・体育館等の建物及び建物付属設備(空調等)の額。

教育研究のために使用される機械設備の額。

教育研究目的以外の機械設備の額。

建設中の有形固定資産をいい、工事前払金、手付金等を含む。

現金及びすぐに引き出せる預り金の額。

決算日(3月31日)における未収入額。

切手、はがき、図書カード等の在庫。

返済期限が1年以上の借入金。

平成24年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額。

返済期限が1年以内の借入金。

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

財産的な基礎を確保する額のこと。本学が安定的かつ持続的に経営していくために必要な額。

資産から負債・基本金を差し引いた額。プラスは累積黒字、マイナスは累積赤字を示す。

【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

【有価証券】
国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的(短期的)な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。

【引当特定資産】
施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

【現金預金】
現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越支払資金」と一致します。

【借入金】
長期借入金は、返済期限が年度末後1年をこえて到来する借入金で、「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で、「流動負債」に計上します。

【預り金】
給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の帰属収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。

【消費収支差額】
当該年度以前における各年度の消費収入から消費支出を差引いた差額の累計額です。消費収支計算書において、消費収入のほうが消費支出より多い場合その差額を「消費収入超過額」といい、逆の場合は「消費支出超過額」といいます。

消費収支関係財務比率

(過去4ヶ年:平成21年度~平成24年度)

比率	算式	H21	H22	H23	H24	評価
1 人件費比率	人件費 / 帰属収入	65.8%	66.4%	62.1%	60.4%	▼
2 人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	96.7%	101.0%	100.2%	98.5%	▼
3 教育研究経費比率	教育研究経費 / 帰属収入	32.7%	32.9%	29.6%	28.3%	△
4 管理経費比率	管理経費 / 帰属収入	12.3%	11.4%	10.3%	10.0%	▼
5 借入金等利息比率	借入金等利息 / 帰属収入	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%	▼
6 消費支出比率	消費支出 / 帰属収入	111.7%	113.7%	103.1%	99.1%	▼
7 消費収支比率	消費支出 / 消費収入	118.3%	118.4%	109.7%	113.4%	▼
8 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 帰属収入	68.0%	65.8%	62.0%	61.3%	—
9 寄付金比率	寄付金 / 帰属収入	0.1%	0.2%	0.2%	0.4%	△
10 補助金比率	補助金 / 帰属収入	23.5%	24.7%	25.0%	25.1%	△
11 基本金組入率	基本金組入額 / 帰属収入	5.6%	4.0%	6.0%	12.7%	△
12 減価償却費比率	減価償却額 / 消費支出	11.8%	11.0%	10.9%	11.4%	—

貸借対照表関係財務比率

(過去4ヶ年:平成21年度~平成24年度)

比率	算式	H21	H22	H23	H24	評価
1 固定資産構成比率	固定資産 / 総資産	91.0%	87.2%	86.7%	87.5%	▼
2 流動資産構成比率	流動資産 / 総資産	9.0%	12.8%	13.3%	12.5%	△
3 固定負債構成比率	固定負債 / 総資金	8.3%	7.9%	7.4%	6.9%	▼
4 流動負債構成比率	流動負債 / 総資金	3.4%	3.5%	3.2%	4.9%	▼
5 自己資金構成比率	自己資金 / 総資金	88.3%	88.5%	89.4%	88.2%	△
6 消費収支差額構成比率	消費収支差額 / 総資金	△ 18.0%	△ 21.6%	△ 23.7%	△ 23.7%	△
7 固定比率	固定資産 / 自己資金	103.0%	98.5%	97.0%	99.2%	▼
8 固定長期適合率	固定資産 / 自己資金+固定負債	94.1%	90.4%	89.6%	92.0%	▼
9 流動比率	流動資産 / 流動負債	267.4%	364.0%	413.7%	255.7%	△
10 総負債比率	総負債 / 総資産	11.7%	11.5%	10.6%	11.8%	▼
11 負債比率	総負債 / 自己資金	13.2%	13.0%	11.9%	13.4%	▼
12 前受金保有率	現金預金 / 前受金	414.4%	555.6%	578.3%	548.1%	△

[注記] (1). 財務比率の評価は、個々の学校法人に適用する場合に内部事情等を個別に判断しなければ一概にその良否をいえないが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。
(私学事業団：今日の私学財政参照) [△：高い値が良い ▼：低い値が良い —：どちらともいえない]
(2). 総資金=負債+基本金+消費収支差額、自己資金=基本金+消費収支差額、運用資産=その他の固定資産+流動資産、外部資産=総負債-(退職給与引当金+前受金)

資金収支計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:千円)

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

長期・短期の貸付金の回収額。特定の目的のために積立てた預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取得するための支出。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整すること。

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,433,413	2,444,772	△ 11,359
手数料収入	74,334	75,162	△ 828
補助金収入	981,890	999,935	△ 18,045
資産運用収入	58,050	60,814	△ 2,764
事業収入	96,956	98,036	△ 1,080
雑収入	291,905	293,611	△ 1,706
借入金等収入	370,000	370,000	0
前受金収入	375,870	391,668	△ 15,798
その他の収入	252,882	1,952,691	△ 1,699,809
資金収入調整勘定	△ 676,286	△ 705,241	28,955
前年度繰越支払資金	2,356,007	2,356,007	
収入の部合計	6,615,021	8,337,455	△ 1,722,434
支出の部	予算	決算	差異
人件費支出	2,442,112	2,437,860	4,252
教育研究経費支出	811,516	775,550	35,966
管理経費支出	332,296	313,200	19,096
借入金等利息支出	8,387	8,387	0
借入金等返済支出	55,540	55,540	0
施設関係支出	744,109	744,108	1
設備関係支出	94,459	91,378	3,081
資産運用支出	50,000	1,754,850	△ 1,704,850
その他の支出	53,975	56,505	△ 2,530
[予備費]	18,929		18,929
資金支出調整勘定	△ 36,927	△ 46,545	9,618
次年度繰越支払資金	2,040,625	2,146,622	△ 105,997
支出の部合計	6,615,021	8,337,455	△ 1,722,434



【語句説明】：資金収支及び消費収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学を条件とし、又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、施設設備費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうち最も大きな割合を占めます。

【手数料】

入学試験、転入入学試験のために徴収する収入です。具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【資産運用収入】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入及び所有する施設の賃貸などの収入をいいます。

【事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学財団から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含まれます。

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。



【語句説明】：消費収支計算書にのみ表れる主な科目

【帰属収入】

学校法人のすべての収入のうち、負債とならない収入(学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金など)をいいます。

【消費収入】

消費収入は、消費支出に充当できる収入のことで、帰属収入から基本金組入額を控除して算出されるものです。

【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒久的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

【資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却し、その売却収入が帳簿残高を下回った場合、その差額をいいます。

【消費支出】

消費支出は、人件費、教育研究経費、管理経費、借入金利息などの当該年度に発生した費用です。資金支出のほかに、退職給与引当金繰入額や減価償却額が計上されています。

消費収支計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位:千円)

現金寄付及び書籍・絵画等の現物寄付を含む寄付。

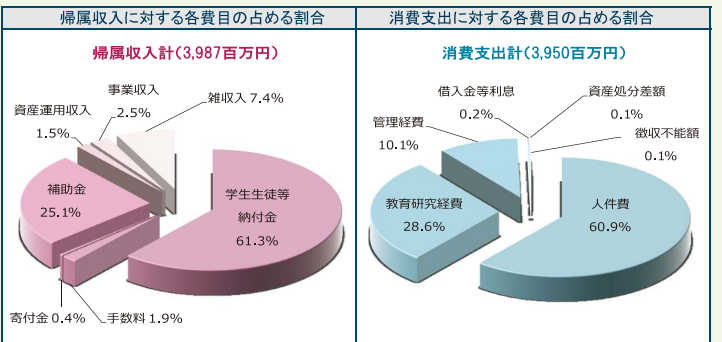
帰属収入とは、学校法人の負債にならない収入。

消費収入とは、帰属収入から基本金を組み入れた後の額。

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,433,413	2,444,772	△ 11,359
手数料	74,334	75,162	△ 828
寄付金	0	14,829	△ 14,829
補助金	981,890	999,935	△ 18,045
資産運用収入	58,050	60,814	△ 2,764
事業収入	96,956	98,036	△ 1,080
雑収入	291,905	293,611	△ 1,706
帰属収入合計	3,936,548	3,987,159	△ 50,611
基本金組入額合計	△ 519,922	△ 504,433	△ 15,489
消費収入の部合計	3,416,626	3,482,726	△ 66,100
支出の部	予算	決算	差異
人件費	2,407,251	2,407,249	2
教育研究経費	1,166,620	1,129,012	37,608
管理経費	415,828	398,418	17,410
借入金等利息	8,387	8,387	0
資産処分差額	3,916	3,916	0
徴収不能額	915	3,836	△ 2,921
(20,000)			
[予備費]	0		0
消費支出合計	4,002,917	3,950,818	52,099
当年度消費支出超過額	586,291	468,092	
前年度繰越消費支出超過額	4,683,828	4,683,828	
基本金取崩額	0	748	△ 748
翌年度繰越消費支出超過額	5,270,119	5,151,172	

消費支出とは、学校法人が諸活動を行うために支出する費用で、消費収入により賄われる。

消費収入から消費支出を差し引いた金額が消費収支差額(収入超過または支出超過で表示)。



企業会計と学校法人会計の違い

企業会計では、会計によって収益と費用を正しくとらえて営業年度の正しい損益を計算し、併せて企業の財政状態、すなわち資産・負債及び資本の状態を知ることによって、より収益力を高め財政的安全性を図ることを目的としています。

一方、学校法人は、教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入の多くは学生生徒等の納付金や国・地方公共団体からの補助金で構成されている極めて公共性の高い公益法人であり、企業のように収益の獲得を目的とすることはできません。したがって、学校法人の会計には、損益の計算という目的はなく、また、一般の企業に比べてより一層の持続性が望まれます。

以上のことから、学校法人会計の目的は、収支の均衡の状況と財政の状態を正しくとらえ、法人の持続的発展に役立てようとすることにあり、その目的を達成するため、計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表)等を作成することになっています。

- **資金収支計算書とは**……当該会計年度に行った諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。
- **消費収支計算書とは**……当該会計年度の消費収入と消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにし、学校法人の経営状況を表すものです。
- **貸借対照表とは**……決算日(年度末)における資産、負債、基本金及び収支差額を明らかにし、学校法人の財政状態を表すものです。

学校法人 九州国際大学

- 大学 法学部 法律学科/経済学部 経済学科・経営学科/国際関係学部 国際関係学科
- 付属高等学校 難関クラス/S特進クラス/特進クラス/準特進クラス/進学クラス/国際コミュニケーションクラス/トッパスリーディングクラス
- 付属中学校
- 大学院 法学研究科・企業政策研究科



大学



ことし最後のチャンス! 平成25年10月14日(祝・月) 14:30~16:30

オープンキャンパス<事前申込必要>

総合ガイダンス/各学部進路相談コーナー/キャンパスツアー/保護者向け説明会/講義見学

お申込みは / TEL. 093-671-8916 FAX. 093-671-8995 admission@kiu.ac.jp

盛り上がっていきましょう!

大学祭「橘祭」平成25年11月23日(祝・土)・24日(日) 10:00~19:00

今年のテーマは「極(きわみ)」

付属高校



入試ワンポイントアドバイスも実施!

オープンスクール 平成25年11月9日(土) 10:00~12:30

学校説明&保護者ガイダンス/クラブアトラクション/入試ワンポイントアドバイス など
無料送迎バス / JR枝光駅発8:30から20分毎に運行

お申込みは / TEL. 093-671-8443 FAX. 093-671-9028 959h@kif.ed.jp

付属中学



小学5・6年生および保護者対象

授業を見てみよう!

秋の学校見学ツアー 平成25年11月16日(土)

●学校説明 10:00~10:40 ●授業見学・校内施設見学 10:50~11:40 ●個別入試相談 11:40~

お申込みは / TEL. 093-671-9001 月~金曜日 / 8:30~17:00

ホームページ <http://www.kif.ed.jp/>

中学校ホームページ内の「学校見学ツアーのご案内」からお申込みください。